



大谷場東

教育目標

かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成

- ◆発行：さいたま市立大谷場東小学校
- ◆住所：336-0016 さいたま市南区大谷場2丁目13番54号
- ◆電話：048-882-4618：FAX：048-811-1327
- ◆URL：<https://oyabahigashi-e.saitama-cty.ed.jp>

学校は学ぶところ

校長 船田 敦史

38日間の長い夏休みが終わり、2学期の始まりです。始業式、子どもたちに2つのことを話しました。1つ目は「よりよくなるよう工夫して『自分から進んで』取り組もう」という話です。2学期は修学旅行や校外学習など様々な行事が予定されています。参加するにあたり、どうすればよりよい活動になるか、よりよい学びにつながるか、より楽しくなるか、より安全になるか等考え、主体的に取り組んでほしいこと、「自分もOK。みんなもOK」なアイデアを考え、実行してほしいことを伝えました。2つ目は「気配り、目配り、心配り、自分もみんなもOKに」という話です。本校舎トイレの改修工事に伴う仮設トイレの使用等について、安全に生活する上で配慮が必要であること、自分も周りの人も大事な存在であるため、お互いに配慮し合う必要があることを伝えました。普段の生活と異なる状況は、戸惑いや一時的な不安につながりますが、この不便さを教材とし、みんなが気持ちよく過ごせるようにはどうすればよいかを考えるきっかけにしたいと考えています。ただ不便というだけではもったいないですからね。

学校は学ぶところです。授業だけが学びではありません。学校生活全般を通して社会性、規範意識、忍耐力等も養います。そして、自分達で自分達の生活をつくる、決めたルールを守る、ルールの中でよりよくなるよう工夫するといった活動を通して主体性、社会参画意識の基礎等を培います。このような考えで学校生活を送るわけですから、まさに「失敗は成功の基」となるわけです。

それでは、学びのメインである授業はというと、年度当初に設定した「真の学力の育成」に係る重点取組の3本柱を着実に進めているところです。

1つ目の「教科担任制の研究」は、大谷場中学校の先生に高学年の授業を担当していただく等、協力を得ながら日々の授業を通して、子どもたちのためになり持続可能な仕組みを模索しているところです。2つ目の「さいたま市学習状況調査等の結果分析に基づく授業改善」は、4月に行われた全国学力量習状況調査における本校の状況について、7月に教育委員会からの指導をいただいたところです。今後は、弱点を補うための授業改善について研究し、日々の指導に生かしていく予定です。3つ目の「ICTを活用した『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善」については、日々の授業においてタブレット等ICT機器の有効活用について研究しているところです。管理職による授業参観も順次行ってまいります。

保護者、地域の皆様には、平素より本校の教育活動に対し、御理解・御協力を賜り、ありがとうございます。今学期も引き続き御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。